令和8年度第1回子ども・子育て会議　委員からのご質問に対する回答

①　国道3号線八幡校区内歩道橋　事故後の今後の予定について

市建設課を通して国土交通省 熊本河川国道事務所に確認しました。令和8年度中に撤去（柱部分以外）を予定しており、その後については協議中とのことでした。

県道325号線（ラ・スール学園ビル付近）歩道橋の傾斜について

- **市教育委員会へ確認**
  年に1度学校と地域で危険個所点検を行っており、該当箇所があった場合は管轄する機関に連絡しています。山鹿小中学校における児童・生徒からの同様の指摘・要望の有無について確認いたしましたが、これまでに該当する報告はないとのことでした。
- **管理者（鹿本地域振興局土木部）へ確認**
  市建設課を通じて同部に確認したところ、現在に至るまで傾斜等に関する指摘や相談を受けたことはないとのことでした。
- **現場確認（子ども課）**
  現地の確認を行いましたが、傾斜などに起因する危険箇所は見受けられませんでした。



---

② 子ども憲章の現場での共有について

保育、小学校、中学校への掲示について、教育委員会等と協議を進めて参ります。

---

③ 公共交通（路線バス）について

現在、山鹿市と周辺地域を結ぶ路線バスは、熊本線 7 路線、玉名線 3 路線、菊池線 3 路線、南関線 1 路線、大津線 1 路線の、計 15 路線が運行されています。

公共交通を取り巻く環境は、慢性的な運転手不足などにより、厳しい状況となっています。

特にバス事業者においては、運転手の確保が課題となっており、定年退職後も引き続き運転業務に従事していただいているなど、運転手不足は深刻な状況です。

参考資料として熊本日日新聞の記事を添付しておきます。

熊本都市バス、九州産交バス減便　休日ダイヤ対象　運転手不足「解消のめど立っていない」

熊本日日新聞　2026年6月4日 20:19



熊本都市バス（熊本市中央区）と九州産交バス（熊本市西区）は6日から、熊本都市圏の路線バスの休日ダイヤを減便する。両社とも慢性的に運転手が不足しており、安全運行に必要な人員確保のめどが立たなかった。

熊本都市バスは、土日祝日の本山、上熊本、小峯の各営業所の路線で、土曜は78便、日祝日は101便を減らす。減便後の便数はそれぞれ785便、637便となる。

2025年度の運転手採用数は16人と、この10年で初めて退職者数（9人）を上回った。ただ、運転手が10人以上不足する状況が続いており、減便に踏み切った。「解消のめどは立っていない」という。

九州産交バスは、熊本、山鹿、光の森、木山の各営業所の土曜の路線を計709便とし、138便減らす。25年度は退職者（33人）を上回る44人の運転手を採用したが、「35人ほど不足している」という。人員配置の見直しなどで、減便期間は最長で4カ月程度を見込む。

2社はこれまで、残業や休日出勤などで便数を維持してきた。今後、運転手採用をさらに強化する。

路線バスの運行効率化を目的に、事業者5社は「共同経営」に取り組む。ほかの3社では、産交バスは5月に八代市と玉名市で市街地循環バスを減便、熊本電気鉄道と熊本バスは減便の予定はない、とした。（草野太一）

---

④ 施策評価シートについて

今後、各事業担当課と協議を行い、目標設定を進めてまいります。

---

⑤ 不登校に対する連携について

学校に戻るまでのスモールステップの連携など関係機関と協議を進めて参ります。

---

⑥ 子育て応援の店の周知について

現在、協力店舗には店頭への幟旗（写真参照）の掲示をお願いしていますが、店舗の事情により掲示が難しい場合もあります。
そのため今後は、熊本県子ども未来課が実施している「くまもと子育て応援の店推進事業」への登録も積極的に促していく方針です。

本事業では、幟旗ではなく「ステッカー」の掲示となります。利用者はスマートフォン等で「子育て応援パスポート」の交付を受け、店舗で提示することで割引やサービス等を受けられる仕組みです。
さらに、令和９年３月末（予定）からは県子ども未来課のホームページでの掲載周知も図られる予定となっております。
こうした制度を活用し、店舗側の負担に配慮しつつ、子育て世帯を応援する取り組みへの

登録を勧奨してまいります。



⑦　体育館空調設備について

体育館の空調設備につきましては、令和8年9月市議会においても議員から質問があり、教育部から答弁を行っております。

現在の予定では、以下のとおり整備を進めることとしており、今後、計画に沿って順次整備を進めていく予定とのことです。

【小学校】
・令和　9 年度　山鹿小学校
・令和 10 年度、令和 11 年度　各年度 3 校ずつ

【中学校】
・令和 12 年度　3 校
・令和 13 年度　2 校

---

⑧ 子ども・若者アンケート結果のグランドデザイン計画での活用について

グランドデザイン担当の都市整備課に共有し、検討会議での資料として活用してもらうことになりました。

---

⑨ あんずの丘アンケート結果の活用について

あんずの丘の遊具整備については、子育て世代を中心とした市民の皆様を対象にアンケート調査を実施し、「どのような遊具が欲しいか」など、ご意見を伺いました。

いただいたご意見を参考に、遊具の種類や設置について優先順位を検討し、整備内容に反映する予定とのことです。

令和 9 年度に事業者を選定し、その後、工事着工の予定とのことです。